

● 総会資料と決定事項 ●

日本透析医会通常総会資料および主な決定事項

日本透析医会通常総会が平成 27 年 5 月 17 日（日）12 時からコクヨホールにて開催された。以下に、その際の資料（抜粋）と主な決定事項を報告する。

第1号議案

平成26年度事業報告書

第1会議

総会

1. 平成26年度通常総会

- 平成26年5月18日 第1号議案 平成25年度事業報告及び財務諸表の承認を求める件
 第2号議案 監事2名選任の件
 第3号議案 定款の一部変更の承認を求める件

理事会

1. 平成26年4月25日

- (1) 平成25年度事業報告及び財務諸表について
 (2) 通常総会提出議案について

- 第1号議案 平成25年度事業報告及び財務諸表の承認を求める件
 第2号議案 監事2名選任の件
 第3号議案 定款の一部変更の承認を求める件

2. 平成26年5月18日

- (1) 新監事（岩崎文昭氏，渡邊有三氏）紹介
 (2) 責任限定契約締結について

3. 平成27年3月13日

- (1) 平成27年度事業計画（案）及び予算（案）について

常任理事会

1. 平成26年4月25日

- 協議事項 (1) 理事会・総会について 平成25年度決算等通常総会提案議題
 (2) 医療関係機関等における感染性廃棄物処理に関するアンケート調査のお願いについて
 (3) 各支部開催の研修会，講演会の経費補助について（研修委員会より）

報告事項

- (1) 仮監事申立て（4月3日：東京地方裁判所）の件
 (2) 平成25年度決算等
 (3) 委員会報告
 医療廃棄物対策部会
 感染防止対策部会
 (4) 適正透析普及部会（支部長会）等の開催

2. 平成26年5月17日

- 協議事項 (1) 平成26年度通常総会及び通常理事会について

- (2) 平成 26 年度レセプト分析調査スケジュール（案）について
- (3) 各支部開催の研修会，講演会の経費補助について（研修委員会より）
- (4) 災害時情報ネットワークシステム向上について
- (5) 診療報酬改定に関する緊急アンケートについて

報告事項

- (1) 臨床工学技士（情報コーディネーター）の透析医療災害対策メーリングリスト参加
- (2) 6月15日：第15回災害時情報ネットワーク会議次第
- (3) 支部の入会：茨城透析医災害対策連絡協議会
- (4) 自主機能評価指標公開施設

3. 平成 26 年 6 月 27 日

協議事項

- (1) 平成 26 年度透析に関する調査研究費について（愛知県透析医会）
- (2) 各支部開催の研修会，講演会の経費補助について（研修委員会より）
- (3) 災害時情報ネットワークシステムについて
- (4) 透析消費税関連緊急アンケートについて

報告事項

- (1) 事業報告書（内閣総理大臣あて）
- (2) 委員会報告
 - 感染防止対策部会
 - 研修委員会

4. 平成 26 年 7 月 25 日

協議事項

- (1) 利益相反情報開示（自己申告による COI 報告書）について
- (2) パブリックコメント，公聴会について
 - 「透析医療における標準的な透析操作と院内感染予防に関するガイドライン」（感染防止対策部会）
- (3) 民間船舶を活用した医療機能の実証訓練について
- (4) 各支部開催の研修会，講演会の経費補助について（研修委員会より）

報告事項

- (1) 委員会報告
 - 広報委員会
 - 感染防止対策部会
- (2) 医療用具取り換え事故に対する対策のお願い（厚生労働大臣宛て）

5. 平成 26 年 9 月 26 日

協議事項

- (1) 新たな難病医療費助成制度における指定医の申請手続きについて
- (2) 国立国会図書館インターネット資料収集保存事業
 - 当会のインターネット資料の収集等に係る許諾について
- (3) 災害時透析医療体制に関するアンケートのお願い（案）について（日本透析医学会危機管理委員会より）
- (4) 特定除外制度の廃止に関するアンケートへの協力のお願について

- (5) 各支部開催の研修会，講演会の経費補助について（研修委員会より）

報告事項

- (1) 公募研究助成申請状況
 (2) 透析医療機関の消費税負担増加に関する緊急アンケート最終集計結果及び結果報告（医会雑誌掲載）
 (3) 研修セミナー（10月19日）等スケジュール
 (4) 感染ガイドライン発刊までのスケジュール

6. 平成 26 年 10 月 29 日

協議事項

- (1) レセプト分析調査（中間報告）について
 (2) 特定除外制度の廃止に関するアンケートへの協力をお願いについて
 (3) 自立支援医療に関わる是正処置要求及び是正改善処置要求（厚生労働大臣宛て，会計検査院：平成 26 年 10 月 17 日）

報告事項

- (1) 委員会報告
 広報委員会
 研修委員会
 (2) 平成 26 年度中間決算

7. 平成 26 年 11 月 28 日

協議事項

- (1) 透析施設における標準的な透析操作と感染予防に関するガイドライン最終案の承認及びパブリックコメント手続きについて（感染防止対策部会より）
 (2) 透析施設における感染対策および感染患者数の現況に関するアンケートについて（感染防止対策部会より）
 (3) 各支部開催の研修会，講演会の経費補助について（研修委員会より）

報告事項

- (1) 日本医師会訪問（透析医療をめぐる諸問題）（11月21日）
 (2) 委員会報告
 感染防止対策部会
 (3) 平成 26 年度公募研究助成審査結果一覧
 (4) 内閣府「民間船舶を活用した医療機能の実証訓練」参加結果

8. 平成 26 年 12 月 19 日

協議事項

- (1) 調査研究費（透析施設における感染対策および感染患者数の現況に関するアンケート）について
 (2) JHAT 設立に関する日本透析医会へのお願い（設立発起人）について
 (3) 要介護透析患者に対するケアマネジメントに関する調査の日本透析医会への協力依頼（透析医療研究会）について

報告事項

- (1) 平成 26 年度レセプト分析調査最終報告
 (2) 厚生労働省保険局医療課訪問結果（我が国の透析医療の現況と将来）
 (3) 民間船舶を活用した医療機能の実証訓練の概要（内閣府防災担当）

9. 平成 27 年 1 月 23 日

協議事項

- (1) 平成 27 年度事業計画（案）策定について
- (2) 施設における非自己管理型在宅血液透析に関わる問題について
- (3) 透析医療における標準的な透析操作と院内感染予防に関するマニュアル（三訂版）改訂ご承認のお願い（感染防止対策部会長より）
- (4) 透析施設における感染対策および感染患者数の現況に関するアンケートご協力
のお願い（感染防止対策部会長より）

報告事項

- (1) 委員会報告
医療廃棄物対策部会
感染防止対策部会

10. 平成 27 年 2 月 27 日

協議事項

- (1) 平成 27 年度事業計画（案）・予算（案）及び理事会について
- (2) 「要介護（要支援）透析患者に対するケアマネジメントに関する調査」の日本透析医会への協力依頼（統計研究会）について

報告事項

- (1) 委員会報告
広報委員会
- (2) 平成 26 年度仮決算

11. 平成 27 年 3 月 13 日

協議事項

- (1) 理事会について
- (2) 役員（理事・監事）の選任について
- (3) 通常総会資料（事業計画等）
- (4) 「JSDT 公示のガイドライン・提言に関する意識調査」について
（研修委員会より）

報告事項

- (1) 委員会報告
在宅血液透析部会

第2 委員会

平成 26 年度委員会開催状況

(平成 26 年 4 月 1 日～平成 27 年 3 月 31 日)

委員会（部会）	開催年月日	備 考
1. 適正透析医療普及推進委員会 (1) 適正透析導入部会 (2) 維持透析療法部会 (3) 適正透析普及部会 (4) 医療廃棄物対策部会 (5) 在宅血液透析部会	平成 26 年 6 月 13 日 平成 26 年 12 月 5 日 平成 26 年 8 月 1 日 平成 27 年 2 月 27 日	支部長会議
2. 適正医療経済・制度調査研究委員会	平成 26 年 6 月 13 日	保険審査委員懇談会
3. 透析医療経営検討委員会		常任理事会で関連事項協議
4. 透析医療に関するグランドデザイン 作成に向けた検討会		
5. 広報委員会	平成 26 年 6 月 20 日 平成 26 年 10 月 10 日 平成 27 年 2 月 13 日	
6. CKD（慢性腎臓病）対策委員会		
7. 研修委員会	平成 26 年 5 月 18 日 平成 26 年 10 月 18 日	
8. 研究助成審査委員会	平成 26 年 10 月 27 日	
9. 災害時透析医療対策委員会	平成 26 年 6 月 15 日	災害時情報ネットワーク会議
10. 医療安全対策委員会 (1) 感染防止対策部会 (2) 医療事故対策部会	平成 26 年 4 月 4 日 平成 26 年 5 月 16 日 平成 26 年 7 月 18 日 平成 26 年 9 月 5 日 平成 26 年 10 月 24 日 平成 26 年 11 月 21 日 平成 27 年 1 月 16 日	メール会議

平成 26 年度委員会報告

1. 適正透析医療普及推進委員会

(1) 適正透析導入部会

愛知県透析医会の透析療法審査活動に透析導入時の調査研究費として 50 万円助成した。当該審査結果に基づく実態報告については、日本透析医会雑誌に掲載する。

(2) 適正透析普及部会

6 月 13 日、支部長会議を開催した。①診療報酬改定について ②特定除外の廃止と今後の調査依頼について ③透析の消費税問題について ④自主機能評価指標の公開について各担当理事からの詳細な説明・報告に続き、関連事項の質疑応答を行った。

(3) 医療廃棄物対策部会

平成 26 年 5 月に日本透析医会施設会員（944 施設）あて「医療関係機関等における感染性廃棄物処理に関するアンケート調査」を実施した。

12 月 5 日、アンケート結果報告、「サ高住」などの共同住宅における在宅血液透析における廃棄等について、問題点を整理し意見交換を行った。アンケート調査結果は日本透析医会雑誌（Vol. 30-No. 1）へ掲載する。

(4) 在宅血液透析部会

8 月 1 日、①下水道の無い地域での HHD 導入における課題 ②通院困難透析患者への対応について ③ HHD における自己負担コストの補てんについて ④ HHD の診療報酬の増額改定への働きかけ等について検討した。2 月 27 日、当部会に当会常任理事及び医学会委員の参加を得て、高齢化社会における在宅血液透析に関する課題（施設における非自己管理型在宅血液透析に関わる問題）等について、意見交換を行った。

2. 適正医療経済・制度調査研究委員会

1) 6 月 13 日、第 19 回透析保険審査委員懇談会を開催した。事前にアンケートを実施し検討事項（46 件）要望事項等（124 件）に基づき、基本診療料、医学管理等、検査、投薬・注射、処置、手術の診療行為別に討論を行った。詳細な報告については、日本透析医会雑誌（Vol. 29-No. 3）に掲載した。

2) 透析医療費の定点調査について、全国の病院及び診療所（214 施設）に協力を得て、平成 26 年 6 月分外来透析レセプトの集計分析を実施した。調査結果は日本透析医会雑誌（Vol. 30-No. 1）に掲載する。

3. 透析医療経営検討委員会

平成 26 年 7 月、「透析医療機関の消費税負担増加に関する緊急アンケート」を実施（760 医療法人あて）し、結果報告は日本透析医会雑誌（Vol. 29-No. 3）に掲載した。10 月に「特定除外制度の廃止に関するアンケート調査」を実施（275 病院）し、関係方面に状況を説明し対応を要望した。

4. 透析医療に関するグランドデザイン作成に向けた検討会

透析医療機関の経営環境の分析と予測、透析提供体制の分析と予測、高齢化による社会的入院、送迎・介護保険との問題と将来予測、透析の質と QI の構築、情報公開等について検討。平成 26 年 3 月に「透析医療の自主機能評価指標の公開のお願い」を日本透析医会施設会員へ文書で依頼するとともに当会 HP 上にて広く周知を図り、公開した施設からは当該施設の指標を機関 HP に掲載した旨の報告を受けている。

5. 広報委員会

日本透析医会雑誌発刊にかかる企画・編集等を討議し、Vol. 29-No. 1～No. 3 の 3 巻を発行した。

6. CKD（慢性腎臓病）対策委員会

- 1) 平成 26 年度臓器移植普及推進月間を主催し、臓器移植推進国民大会を後援した。
- 2) (公社) 日本臓器移植ネットワーク運営事業に参画（年会費 510 万円）し、腎移植の普及推進に協力した。

7. 研修委員会

- 3) 研修セミナー（東京）「透析医療における社会的課題」を開催，300 名が参加した。
日 時：平成 26 年 5 月 18 日（日）
午前 8 時 45 分～午後 4 時 45 分
場 所：コクヨホール
- 4) 研修セミナー（札幌）「英知を結集し透析療法に新たな潮流を」を開催，203 名が参加した。
日 時：平成 26 年 10 月 19 日（日）
午前 9 時 00 分～午後 4 時 20 分
場 所：ニューオータニイン札幌
- 5) 支部（各都道府県透析医会等）が開催した研修会・講演会の経費の助成を行った。

支部名および研修会・講演会名	講演内容	開催日
〈広島県透析連絡協議会〉 第 15 回広島県透析連絡協議会総会・講演会	平成 26 年度診療報酬改定と今後の透析医療	平成 26 年 4 月 12 日
〈青森県透析医会〉 第 38 回青森人工透析研究会	腎移植の現状と今後の課題	平成 26 年 6 月 1 日
〈鹿児島県透析医会〉 第 28 回鹿児島県透析医会総会特別講演	透析効率の考え方	平成 26 年 6 月 26 日
〈福岡県透析医会〉 第 54 回福岡市透析集談会	CKD-MBD と骨粗鬆症	平成 26 年 6 月 26 日
〈大阪透析医会〉 大阪透析医会講演会	CKD-MBD の発症機序・病態・対処法	平成 26 年 7 月 19 日
〈北海道透析医会〉 北海道透析医会総会並びに研修会	シナカルセット登場後の副甲状腺摘出術	平成 26 年 8 月 23 日
〈静岡県透析医会〉 第 44 回静岡県腎不全研究会	チームで行う CKD 治療	平成 26 年 10 月 26 日
〈愛知県透析医会〉 平成 26 年度愛知県透析医会研修会	透析における結核診断	平成 26 年 11 月 30 日
〈宮城県透析医会〉 第 43 回宮城県腎不全研究会	わが国の緩和ケアの現状： がん領域の進歩，非がん領域の課題	平成 26 年 12 月 14 日
〈東京透析懇談会〉 第 43 回東京透析懇談会	透析患者の心理的・精神医学的問題： 最近の知見	平成 27 年 2 月 22 日
〈京都透析医会〉 第 35 回京都透析医会総会・学術集会	鉄代謝から今後の腎性貧血治療を考える	平成 27 年 3 月 15 日

- 6) 平成 27 年度の研修セミナーについて，平成 27 年 5 月 17 日（日）東京，平成 27 年 10 月 4 日（日）新潟での開催を決定した。

8. 研究助成審査委員会

10月27日、公募研究助成申請26件について厳正なる審査が行われ、以下のとおり20件（総額21,400千円）を採択した。

- | | | | |
|---|---------------------------------|-------|-------------|
| (1) 透析を施行中の腎障害患者での肝消失型抗がん薬の特異な排泄遅延と蛋白結合率低下の機構解明と投与設計 | 昭和大学腫瘍分子生物学研究所 | 藤田 健一 | 1,000,000 円 |
| (2) 透析症例における Helicobacter pylori 除菌療法によるグレリンに関連した長期的な予後改善効果の検討 | 浜松医科大学第一内科 | 市川 仁美 | 1,000,000 円 |
| (3) 腹膜透析関連腹膜炎における、排液中の補体活性系蛋白と補体活性化産物の検討 | 名古屋大学大学院医学系研究科 腎不全総合治療学寄附講座 | 水野 正司 | 1,000,000 円 |
| (4) 血液透析患者におけるコレステロール合成・吸収と心血管リスク | 大阪市立大学大学院医学研究科 老年血管病態学 | 庄司 哲雄 | 1,000,000 円 |
| (5) インスリン抵抗性惹起因子としての尿毒素とその機序に関する研究 | 島根大学医学部臨床検査医学講座 | 矢野 彰三 | 1,000,000 円 |
| (6) 慢性腎臓病患者の脂質プロファイルに対する透析の影響の経時的研究 | 東京医科歯科大学生命倫理研究センター／東京共済病院 腎臓内科 | 神田英一郎 | 1,000,000 円 |
| (7) 腹膜透析患者における新規腹膜障害マーカーと心血管イベント予測因子としての Pentraxin3 (PTX3) についての多施設共同研究 | 順天堂大学医学部附属 順天堂東京江東高齢者医療センター腎臓内科 | 神田 怜生 | 1,000,000 円 |
| (8) Ca による FGF23 調節についての検討 | 昭和大学医学部内科学講座腎臓内科学部門 | 溝渕 正英 | 1,500,000 円 |
| (9) 蛋白結合尿毒素物質の除去に関する透析器と血液浄化器の効果検討 | 新潟大学大学院医歯学総合研究科腎医学医療センター | 山本 卓 | 1,000,000 円 |
| (10) メチルグリオキサールによる腹膜線維化に対するリナグリプチンの効果 | 広島大学病院腎臓内科 | 正木 崇生 | 500,000 円 |
| (11) 慢性維持透析患者のがん治療標準化に向けた疫学および薬物モニタリングに関する研究 | 京都大学大学院医学研究科腎臓内科学 | 松原 雄 | 1,000,000 円 |
| (12) 血液透析患者における鉄含有経口リン吸着薬リオナによる血清 FGF23 の変動に関する研究 | 済生会新潟第二病院腎膠原病内科 | 井口 昭 | 300,000 円 |
| (13) 先天性腎尿路奇形の新規原因遺伝子の検索—CBWD1 の腎臓発生における役割の解明 | 東京女子医科大学腎臓小児科 | 神田祥一郎 | 2,000,000 円 |
| (14) 血液透析中における再循環率の計測と抜針警報装置の開発 | 杏林大学保健学部血液浄化療法学 | 須田 健二 | 800,000 円 |
| (15) リストバンド型加速度センサー付ライフログレコーダを使った透析患者の身体活動の評価 | 順天堂大学腎臓内科 | 濱田千江子 | 1,000,000 円 |
| (16) 血液透析患者における新たな血管石灰化因子に関する研究 | 東京女子医科大学第四内科 | 浅宮有香理 | 1,500,000 円 |
| (17) 血液透析システムにおける透析液品質の維持向上に関する細菌叢の生態制御学的研究 | 越谷大袋クリニック内科 | 大藪 英一 | 800,000 円 |

- (18) iPS 細胞作成技術を用いた稀少腎疾患における腎糸球体上皮細胞の機能解析と病態解明
新潟大学医歯学総合病院腎・膠原病内科 酒巻 裕一 1,500,000 円
- (19) ドナー腎のコンディショニングに対する水素ガスの有用性の検討
慶應義塾大学医学部血液浄化・透析センター 吉田 理 1,500,000 円
- (20) ESI-TOFMS を駆使した透析患者における糖化／酸化ストレス同時測定法の開発と
治療介入効果の検証
熊本大学薬学部薬剤学分野 丸山 徹 1,000,000 円

9. 災害時透析医療対策委員会

1) 第 15 回災害時情報ネットワーク会議

6 月 15 日、各都道府県災害情報ネットワーク関係者など計 73 名の参加を得て開催された。「平成 26 年 2 月山梨県豪雪災害について」(山梨県臨床工学技士会 石井仁士先生) 調査から～提言(案)～(災害時透析医療対策委員会副委員長 赤塚東司雄先生)の特別講演が行われた後、各支部からの活動報告(書面報告)、情報ネットワーク本部から平成 25 年度の活動報告と平成 26 年度活動計画についての説明等が行われた。会議の詳細は、日本透析医会雑誌 (Vol. 29-No. 3) に掲載した。

2) 災害時活動

災害時情報活動等は以下のとおり

- 長野県北部を震源とする地震 (M6.7)。長野県長野市、小谷村、小川村で震度 6 弱、長野県白馬村、信濃町で震度 5 強を観測したほか、中部地方を中心に、東北地方から中国地方の一部にかけて震度 5 弱～1 を観測。(平成 26 年 11 月 2 日 22 時 8 分)
- 京都府福知山市の豪雨による冠水及び広島市の豪雨による土砂災害。(平成 26 年 8 月 21 日)
- 徳島県南部を震源とする地震 (M5.0)。徳島県牟岐町で震度 5 強、徳島県海陽町で震度 5 弱を観測したほか、近畿地方から中国・四国地方にかけて震度 4～1 を観測。(平成 27 年 2 月 6 日 10 時 25 分)
- 岩手県沖を震源とする地震 (M5.7)。青森県階上町で震度 5 強、岩手県普代村で震度 5 弱を観測したほか、東北地方を中心に、北海道から関東地方の一部にかけて震度 4～1 を観測。(平成 27 年 2 月 17 日 13 時 46 分)

3) 第 15 回災害時情報伝達訓練

9 月 1 日、訓練を実施した。参加施設数は、40 都道府県 41 地域、中国 5 県と石川県、沖縄県が独自に行った訓練参加施設数を加えて、計 1,576 施設が参加し、2000 年の訓練開始以来、過去最高となった。

また、イリジウム通話訓練では、本部へ 6 施設、副本部へ 7 施設が発信、メールの送信は 7 件だった。

北海道 = 6	青 森 = 3	岩 手 = 6	宮 城 = 45	山 形 = 32	福 島 = 48
茨 城 = 18	栃 木 = 44	千 葉 = 106	東 京 = 96	神奈川 = 39	新 潟 = 38
富 山 = 43	石 川 = 31	福 井 = 3	山 梨 = 32	長 野 = 74	岐 阜 = 4
静 岡 = 3	愛 知 = 133	三 重 = 5	京 都 = 30	大 阪 = 95	兵 庫 = 19
奈 良 = 1	和歌山 = 1	鳥 取 = 29	島 根 = 19	岡 山 = 64	広 島 = 50
山 口 = 44	香 川 = 17	高 知 = 33	福 岡 = 123	長 崎 = 11	熊 本 = 91
大 分 = 27	宮 崎 = 49	鹿児島 = 30	沖 縄 = 34		

4) 情報システム・メーリングリスト保守管理

- 「透析医療災害対策メーリングリスト」taisaku_ml 登録アドレス数 130
- 「災害時情報ネットワークメーリングリスト」joho_ml 登録アドレス数 896

10. 医療安全対策委員会

(1) 感染防止対策部会

平成 25 年 11 月から計 8 回にわたる会議を開催。「透析医療における標準的な透析操作と院内感染予防に関するマニュアル（三訂版）」の改訂について検討を重ね、名称を「透析施設における標準的な透析操作と感染予防に関するガイドライン（四訂版）」に改名した改訂版（案）を作成し、パブリックコメントの手続きを経て、冊子を作成した。

(2) 医療事故対策部会

平成 25 年 12 月に実施した「透析医療事故の定義と報告制度と透析医療事故の実態」に関する全国調査の結果報告を日本透析医会雑誌（Vol. 30-No. 1）に掲載する。

平成 26 年度財務諸表

1. 貸借対照表 (平成 27 年 3 月 31 日現在)

(単位:円)

勘定科目	当年度	前年度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
(1) 現預金			
現金	19,797	33,650	△ 13,853
普通預金	8,161,613	9,212,267	△ 1,050,654
定期預金	10,003,930	20,002,870	△ 9,998,940
現預金合計	18,185,340	29,248,787	△ 11,063,447
(2) その他流動資産			
その他流動資産合計	0	0	0
流動資産合計	18,185,340	29,248,787	△ 11,063,447
2. 固定資産			
(1) 基金			
研究助成事業基金定期預金	202,004,889	202,004,889	0
基金合計	202,004,889	202,004,889	0
(2) 特定資産			
退職給付引当資産	3,561,925	3,008,880	553,045
特定資産合計	3,561,925	3,008,880	553,045
(3) その他固定資産			
電話加入権	563,372	563,372	0
淡路建物ビル保証金	6,300,000	6,300,000	0
警備保証金	50,000	50,000	0
その他固定資産合計	6,913,372	6,913,372	0
固定資産合計	212,480,186	211,927,141	553,045
資産合計	230,665,526	241,175,928	△ 10,510,402
II 負債の部			
1. 流動負債			
会費預り金	70,000	60,000	10,000
所得税預り金	257,004	250,354	6,650
健康保険預り金	64,109	61,717	2,392
厚生年金預り金	104,843	98,440	6,403
流動負債合計	495,956	470,511	25,445
2. 固定負債			
退職給付引当金	3,561,925	3,008,880	553,045
固定負債合計	3,561,925	3,008,880	553,045
負債合計	4,057,881	3,479,391	578,490
III 正味財産の部			
1. 一般正味財産	226,607,645	237,696,537	△ 11,088,892
正味財産合計	226,607,645	237,696,537	△ 11,088,892
負債及び正味財産合計	230,665,526	241,175,928	△ 10,510,402

2. 正味財産増減計算書（平成26年4月1日から平成27年3月31日まで）

(単位:円)

勘定科目	当年度	前年度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
① 研究助成事業基金運用益 研究助成事業基金受取利息	50,501	50,501	0
② 受取入会金 受取入会金	210,000	60,000	150,000
③ 受取会費 受取会費	88,100,000	87,430,000	670,000
④ 受取寄付金 受取寄付金	21,800,000	22,800,000	△ 1,000,000
⑤ 事業収益 研修セミナー参加費	503,000	488,000	15,000
⑥ 雑収益 受取利息	11,457	11,679	△ 222
雑収入	0	332,758	△ 332,758
経常収益計	110,674,958	111,172,938	△ 497,980
(2) 経常費用			
事業費			
調査・研究、普及、教育研修事業	55,715,498	54,508,160	1,207,338
給与手当	8,099,414	8,571,386	△ 471,972
退職給付費用	221,217	189,349	31,868
福利厚生費	42,413	41,147	1,266
会議費	739,215	875,144	△ 135,929
旅費交通費	3,654,584	4,881,408	△ 1,226,824
通信運搬費	1,580,008	1,328,078	251,930
事務消耗品費	1,143,207	1,158,770	△ 15,563
印刷製本費	10,005,729	9,435,943	569,786
水道光熱費	101,187	124,433	△ 23,246
家賃	1,919,789	1,999,626	△ 79,837
原稿料	2,293,940	2,389,886	△ 95,946
諸会費	102,049	103,816	△ 1,767
警備等委託費	380,378	394,913	△ 14,535
ホームページ管理費	331,776	316,469	15,307
レセプト調査費	8,703,720	6,760,200	1,943,520
日本臓器移植ネットワーク助成費	5,100,000	5,100,000	0
調査・研究費	500,000	500,000	0
セミナー開催費	9,384,995	8,574,521	810,474
研修費	1,100,000	1,400,000	△ 300,000
雑費	311,877	363,071	△ 51,194
研究助成事業	28,468,251	30,647,467	△ 2,179,216
給与手当	4,049,707	4,285,692	△ 235,985
退職給付費用	110,609	94,674	15,935
福利厚生費	21,206	20,573	633
会議費	46,785	49,125	△ 2,340
旅費交通費	315,560	19,100	296,460
通信運搬費	103,777	104,684	△ 907
事務消耗品費	571,604	554,385	17,219

(単位:円)

勘定科目	当年度	前年度	増 減
印刷製本費	196,524	174,006	22,518
水道光熱費	50,594	62,217	△ 11,623
家賃	959,894	999,813	△ 39,919
謝金	110,000	100,000	10,000
諸会費	51,025	51,908	△ 883
警備等委託費	190,189	197,457	△ 7,268
ホームページ管理費	165,888	158,235	7,653
研究助成費	21,400,000	23,660,000	△ 2,260,000
雑費	124,889	115,598	9,291
安全対策事業	17,329,609	9,512,794	7,816,815
給与手当	2,024,854	2,142,847	△ 117,993
退職給付費用	55,305	47,337	7,968
福利厚生費	10,603	10,287	316
会議費	938,239	295,812	642,427
旅費交通費	913,020	446,920	466,100
通信運搬費	91,533	785,942	△ 694,409
事務消耗品費	285,802	227,193	58,609
印刷製本費	51,498	886,420	△ 834,922
調査委託費	6,004,800	0	6,004,800
水道光熱費	25,297	31,108	△ 5,811
家賃	479,947	499,907	△ 19,960
諸会費	25,513	25,954	△ 441
警備等委託費	95,095	98,729	△ 3,634
ホームページ管理費	82,944	79,118	3,826
システム管理費	5,412,970	3,105,421	2,307,549
災害発生時対応諸経費	730,000	730,000	0
雑費	102,189	99,799	2,390
事業費計	101,513,358	94,668,421	6,844,937
管理費			
給与手当	6,074,561	6,428,539	△ 353,978
退職給付費用	165,914	142,012	23,902
福利厚生費	31,810	30,860	950
会議費	14,820	105,280	△ 90,460
常任理事会費	3,714,554	3,720,250	△ 5,696
総会・理事会費	2,796,791	2,320,267	476,524
旅費交通費	2,180,820	1,849,450	331,370
通信運搬費	144,001	134,347	9,654
事務消耗品費	857,406	831,578	25,828
印刷製本費	154,495	100,989	53,506
水道光熱費	75,890	93,325	△ 17,435
家賃	1,439,842	1,499,720	△ 59,878
会計委託費	1,200,000	1,200,000	0
警備等委託費	285,284	296,186	△ 10,902
報酬	600,000	600,000	0
租税公課	1,600	1,600	0
慶弔費	0	41,946	△ 41,946
諸会費	76,538	77,862	△ 1,324
ホームページ管理費	248,832	237,353	11,479
雑費	187,334	173,397	13,937
管理費計	20,250,492	19,884,961	365,531

(単位:円)

勘定科目	当年度	前年度	増 減
経常費用計	121,763,850	114,553,382	7,210,468
当期経常増減額	△ 11,088,892	△ 3,380,444	△ 7,708,448
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益			
経常外収益計			
(2) 経常外費用			
経常外費用			
経常外収益計			
当期経常外増減額			
当期一般正味財産増減額	△ 11,088,892	△ 3,380,444	△ 7,708,448
一般正味財産期首残高	237,696,537	241,076,981	△ 3,380,444
一般正味財産期末残高	226,607,645	237,696,537	△ 11,088,892
Ⅱ 正味財産期末残高	226,607,645	237,696,537	△ 11,088,892

3. 財務諸表に対する注記

(1) 重要な会計方針

1) 退職給付引当金の計上基準

期末退職給与の要支給額に相当する金額を計上することとしている。

2) リース取り引きの処理方法

通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっている。

(2) 基金、特定資産、その他の固定資産の増減額及びその残高

基金、特定資産、その他の固定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基金				
研究助成事業基金定期預金	202,004,889	0	0	202,004,889
小 計	202,004,889	0	0	202,004,889
特定資産				
退職給付引当資産	3,008,880	553,045	0	3,561,925
小 計	3,008,880	553,045	0	3,561,925
その他固定資産				
電話加入権	563,372	0	0	563,372
淡路建物ビル保証金	6,300,000	0	0	6,300,000
警備保証金	50,000	0	0	50,000
小 計	6,913,372	0	0	6,913,372
合 計	211,927,141	553,045	0	212,480,186

(3) 基金、特定資産、その他の固定資産の財源等の内訳

基金、特定資産、その他の固定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産からの 充当額)	(うち一般正味財産からの 充当額)	(うち負債に 対応する額)
基金				
研究助成事業基金定期預金	202,004,889	0	(202,004,889)	0
小 計	202,004,889	0	(202,004,889)	0
特定資産				
退職給付引当資産	3,561,925	—	—	(3,561,925)
小 計	3,561,925	—	—	(3,561,925)
その他固定資産				
電話加入権	563,372	0	(563,372)	
淡路建物ビル保証金	6,300,000	0	(6,300,000)	
警備保証金	50,000	0	(50,000)	
小 計	6,913,372	0	(6,913,372)	0
合 計	212,480,186	0	(208,918,261)	(3,561,925)

(4) 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は、次のとおりである。

(単位：円)

補助金等の名称	交付者	前期末 残高	当期増加額	当期減少額	当期末 残高	貸借対照表上の 記載区分
透析を施行中の腎障害患者での肝消失型抗がん薬の特異な排泄遅延と蛋白結合率低下の機構解明と投与設計	藤田 健一	0	1,000,000	1,000,000	0	
透析症例における Helicobacter pylori 除菌療法によるグレリンに関連した長期的な予後改善効果の検討	市川 仁美	0	1,000,000	1,000,000	0	
腹膜透析関連腹膜炎における、排液中の補体活性系蛋白と補体活性化産物の検討	水野 正司	0	1,000,000	1,000,000	0	
血液透析患者におけるコレステロール合成・吸収と心血管リスク	庄司 哲雄	0	1,000,000	1,000,000	0	
インスリン抵抗性惹起因子としての尿毒素とその機序に関する研究	矢野 彰三	0	1,000,000	1,000,000	0	
慢性腎臓病患者の脂質プロファイルに対する透析の影響の経時的研究	神田英一郎	0	1,000,000	1,000,000	0	
腹膜透析患者における新規腹膜障害マーカーと心血管イベント予測因子としての Pentraxin3 (PTX3) についての多施設共同研究	神田 怜生	0	1,000,000	1,000,000	0	
Ca による FGF23 調節についての検討	溝渕 正英	0	1,500,000	1,500,000	0	
蛋白結合尿毒素物質の除去に関する透析器と血液浄化器の効果検討	山本 卓	0	1,000,000	1,000,000	0	
メチルグリオキサールによる腹膜線維化に対するリナグリプチンの効果	正木 崇生	0	500,000	500,000	0	
慢性維持透析患者のがん治療標準化に向けた疫学および薬物モニタリングに関する研究	松原 雄	0	1,000,000	1,000,000	0	
血液透析患者における鉄含有経口リン吸着薬リオナによる血清 FGF23 の変動に関する研究	井口 昭	0	300,000	300,000	0	
先天性腎尿路奇形の新規原因遺伝子の検索—CBWD1 の腎臓発生における役割の解明	神田祥一郎	0	2,000,000	2,000,000	0	
血液透析中における再循環率の計測と抜針警報装置の開発	須田 健二	0	800,000	800,000	0	
リストバンド型加速度センサー付ライフログレコーダを使った透析患者の身体活動の評価	濱田千江子	0	1,000,000	1,000,000	0	
血液透析患者における新たな血管石灰化因子に関する研究	浅宮有香理	0	1,500,000	1,500,000	0	
血液透析システムにおける透析液品質の維持向上に関する細菌叢の生態制御学的研究	大藪 英一	0	800,000	800,000	0	
iPS 細胞作成技術を用いた稀少腎疾患における腎糸球体上皮細胞の機能解析と病態解明	酒巻 裕一	0	1,500,000	1,500,000	0	
ドナー腎のコンディショニングに対する水素ガスの有用性の検討	吉田 理	0	1,500,000	1,500,000	0	
ESI-TOFMS を駆使した透析患者における糖化/酸化ストレス同時測定法の開発と治療介入効果の検証	丸山 徹	0	1,000,000	1,000,000	0	
合 計		0	21,400,000	21,400,000	0	

4. 附属明細書

(1) 基金, 特定資産, その他の固定資産の明細
財務諸表に対する注記(2)に記載している.

(2) 引当金の明細

(単位:円)

科 目	期首残高	当期増減額	当期減少額		期末残高
			使用目的	その他	
退職給付引当金	3,008,880	553,045	0	0	3,561,925
合 計	3,008,880	553,045	0	0	3,561,925

5. 財産目録（平成 27 年 3 月 31 日現在）

（単位：円）

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額
(流動資産)	現預金	手元保管	運用資金として	19,797
	現金			8,161,613
	普通預金			421,985
	ゆうちょ銀行		〃	300,153
	りそな銀行		〃	46,433
	みずほ銀行		〃	183,795
	三井住友銀行		〃	7,209,247
	三菱東京 UFJ 銀行		〃	10,003,930
	定期預金			10,003,930
	三菱東京 UFJ 銀行		〃	
			現預金合計	18,185,340
			流動資産合計	18,185,340
(固定資産)	基金	三菱東京 UFJ 銀行	公益目的保有財産であり、運用益を研究助成事業に使用している	202,004,889
	研究助成事業基金 定期預金			基金合計
特定資産	退職給付引当資産	三菱東京 UFJ 銀行	職員退職金の支払財源として積み立てている	3,561,925
			特定資産合計	3,561,925
その他固定資産	電話加入権	東京都千代田区神田須田町 1-15-2	共用財産であり、うち 70% は公益の用に供し、30% は管理運営の用に供している	563,372
	淡路建物ビル保証金	〃	〃	6,300,000
	警備保証金	〃	〃	50,000
			その他固定資産合計	6,913,372
			固定資産合計	212,480,186
			資産合計	230,665,526
(流動負債)	会費預り金	ゆうちょ銀行	重複会費の預り分	70,000
	所得税預り金	三菱東京 UFJ 銀行	源泉所得税の未払い分	257,004
	健康保険預り金	三菱東京 UFJ 銀行	健康保険の未払い分	64,109
	厚生年金預り金	三菱東京 UFJ 銀行	厚生年金の未払い分	104,843
			流動負債合計	495,956
(固定負債)	退職給付引当金	三菱東京 UFJ 銀行	職員に対する退職金の支払に備えたもの	3,561,925
			固定負債合計	3,561,925
			負債合計	4,057,881
			正味財産	226,607,645

第2号議案

役員（理事・監事）の選任の件

任期満了に伴う理事の選任及び新監事の選任について平成27年3月の理事会において、平成27年通常総会に役員選任議案を上程することとなりました。

つきましては、下記の理事27名及び監事1名の候補者を選任していただきたくお願いいたします。役員任期は、平成29年の通常総会までの2年間となります。

1. 理事（定数30名 候補者27名）

(五十音順)

氏名	所 属	備 考
相澤孝夫	社会医療法人財団慈泉会 理事長（相澤病院）	新任
秋澤忠男	昭和大学医学部内科学講座腎臓内科学部門 客員教授	重任
秋葉隆	東京女子医科大学腎臓病総合医療センター血液浄化療法科 教授	重任
岩元則幸	特定医療法人桃仁会 老人保健施設桃寿苑 施設長	重任
上山達典	医療法人腎愛会 理事長（上山病院）	重任
太田圭洋	社会医療法人名古屋記念財団 理事長（名古屋記念病院）	重任
大平整爾	医療法人社団東桑会 札幌北クリニック 顧問	重任
清瀬隆	医療法人清栄会 理事長（清瀬病院）	重任
隈博政	医療法人明栄会 理事長（くまクリニック）	重任
久保和雄	医療法人社団昇陽会 高円寺すずきクリニック 院長	新任
黒田重臣	くろだ明大前クリニック 院長	重任
指出昌秀	医療法人社団一秀会 理事長（指出泌尿器科）	重任
佐中孜	社会福祉法人仁生社江戸川病院 生活習慣病CKDセンター長	新任
澤宏紀	元国立健康・栄養研究所 所長	重任
宍戸寛治	社会医療法人財団石心会 川崎クリニック 院長	新任
篠田俊雄	社会医療法人河北医療財団 河北総合病院 透析センター長	重任
新里健	医療法人社団健昌会 理事長（新里クリニック浦上）	重任
鈴木正司	社会福祉法人新潟市社会事業協会 信楽園病院 顧問	重任
土谷晋一郎	特定医療法人あかね会 理事長（土谷総合病院）	重任
戸澤修平	医療法人社団北辰 理事長（クリニック198札幌）	重任
西岡正登	特定医療法人五仁会 理事長（住吉川病院）	重任
沼田明	医療法人尚腎会 高知高須病院 名誉院長	重任
前田憲志	医療法人有心会 大幸砂田橋クリニック 院長	重任
村上秀一	医療法人三良会 理事長（村上新町病院）	重任
山川智之	特定医療法人仁真会 理事長（白鷺病院）	重任
山下達博	医療法人社団博寿会 理事長（山下医院）	重任
吉田豊彦	医療法人社団誠仁会 理事長（みはま病院）	重任

2. 監事（定数3名※ 候補者1名）

氏名	所 属	備 考
杉崎弘章	医療法人社団心施会 理事長（八王子東町クリニック）	新任

※定数3名のうち2名は、平成26年通常総会において選任済み（任期：平成28年通常総会まで）

平成 27 年度 通常総会報告

山崎会長挨拶

ご紹介のありました山崎です。総会を開催しようと思います。ご存じのように、現在、日本の透析患者さんは極めて急速に高齢化が進んでいることと、それぞれの施設の中では、透析患者さんが増えなくなっている施設もかなりたくさんあるのかなという、地域についてもそうだと思います。導入患者さん自身も減ってきたり、あるいは亡くなる人が増えてきているなど、医学会の統計調査にもあるように、間もなく患者数がピークを迎える中で、日本透析医会としては、もちろん日本透析医学会との業務の分担も考えなければいけないものですから、日本透析医学会が極めて学術的な要素を中心にして活動をしているのに対し、われわれはどうやって透析患者さんとその家族が幸せになるかという点に関しては、そういう学術的な問題以外のところを担当しようと考え、やってきました。

透析医療機関が、健全に経営が成り立っていかなければ、透析患者さんの幸せはないと思いますし、そのためには保険診療そのものの問題も十分考えていかなければいけない。もっと身近なところで言うと感染事故、あるいは医療事故そのものが透析医療機関の経営に大きく影響するものですから、そういう事故防止、感染防止についても、われわれの責任である、主たる業務であると考えていますし、災害対策もそうでした。今までずっと日本透析医会が創設されてから今日に至るまで、本当に多くの皆さんのご協力を得ながら、ずいぶんいい仕事ができきたかなと誇りに思っています。

今年度は、ちょうど役員改選、理事改選の時期にあたっています。後ほどまた紹介させていただきますが、若いお医者さんが透析の領域になかなか入らないという話も聞いています。しかし、見ていると目の前では、何人かがそういうところに関与されてきているようなので、ぜひ日本の透析を、世界一の透析成績を残しているの、維持するような形で、これからも透析医会は頑張っていきたいと思っています。

ぜひまた、今後、皆さまのご指導とご協力をお願いして、会長の挨拶とさせていただきます。ありがとうございました。

議長選出

鈴木正司 副会長を選出

議事録署名人

隈 博政 理事

戸澤修平 理事を選任

議 事

第 1 号議案 平成 26 年度事業報告及び財務諸表の承認を求める件

山川智之常務理事から事業報告について、資料に基づき 1. 会議 2. 委員会の順に説明が行われ、篠田俊雄専務理事から財務諸表について、資料に基づき貸借対照表、正味財産増減計算書等の詳細な説明が行われた。引き続き岩崎文昭監事から平成 26 年度の理事の職務の執行状況等について監査報告が行われた。

議長による採決が行われ平成 26 年度事業報告及び財務諸表ともに満場一致で承認された。

第 2 号議案 役員（理事・監事）の選任の件

山崎親雄会長から本定時総会終結時をもって全理事が任期満了となるので理事 27 名の選任並びに監事 1 名の選任について、資料に基づき理事については重任予定の 23 名と新任予定の 4 名を、監事については杉崎弘章氏を選任していただきたい旨の提案があり、議長による採決が行われ満場一致で全員が選任された。

理事重任 (23 名)

秋澤忠男, 秋葉 隆, 岩元則幸, 上山達典, 太田圭洋, 大平整爾, 清瀬 隆, 隈 博政, 黒田重臣,
指出昌秀, 澤 宏紀, 篠田俊雄, 新里 健, 鈴木正司, 土谷晋一郎, 戸澤修平, 西岡正登, 沼田 明,
前田憲志, 村上秀一, 山川智之, 山下達博, 吉田豊彦

理事新任 (4 名)

相澤孝夫, 久保和雄, 佐中 孜, 宍戸寛治